

企画 クアーズテック秦野カルチャーホール指定管理者
(株)タウンニュース社

秦野高校演劇部 Dream Factory



この日の練習に参加した部員たち

演技の練習中



練習を見守るマスコット・ロドリゲス



音響を流すタイミングも重要

秦野曽屋高校演劇部 Dream Laboratory



演技の練習中



大切なことは
黒板にメモ



小学生からもらった感想文が宝物

秋は文化祭の季節。演劇部がある秦野高校と秦野曽屋高校では、9月の文化祭で上演する劇の準備が進められている。文化祭を前に、両校の演劇部に部の雰囲気や特徴、劇の見どころ、演劇への思いなどを取材した。

高校演劇、舞台裏に迫る

文化祭直前インタビュー

秦野高校演劇部

秦野高校演劇部(劇団名・Dream Factory/矢野悟顧問)は今年1月に創部以来初の関東大会出場を果たした。現在3年生は引退し、1・2年生生合わせた部員10人で活動している。

8月19日の練習には6人の部員が参加。台本を覚えながら、セリフ合わせなどが行われた。

オリジナルの台本で

取材時は台本が仕上がって間もなく、タイトルも未定。部長の栗原明咲さん(2年)が手がけたものだ。思春期特有の人間関係の悩みなどをテーマとした作品だという。「中学時代や高1の時など周囲の環境が変わって苦労した時の気持ちを元にした。同じ思いをしたことがある人に刺さる内容になれば」と台本に込めたメッセージを語る栗原さん。7人が役者として、3人が音楽や演出を担当し10人全員で舞台を作り上げる。

環境変化乗り越え

最上級生として部を率引する2年生は「関東大会出場の実績はプレッシャーでもある」と苦笑い。関東大会出場時の台本は前顧問が手がけていたが、春から顧問が変わり生徒が台本を書くように。頼りにしていた3年生も引退し、環境も大きく変わった。大変なこともあるが、その分「やりがいを感じる」と部員たちは意欲的だ。「専門知識がついてドラマやアニメを見て演出の方法などに目がいくようになった」と日々成長を実感している。文化祭で披露する劇はその後ブラッシュアップし、10月の地区大会でも演じていく。「まずは県大会に行きたい。自分たちが作ったものが認められればうれしい」と意気込みを話す。

役者の魅力を生かす文化祭で披露する劇の台本は、台本配布サイト「はりのこのトラの穴」から選んだ「丹波ツルギはわからずや。」(作者・御子柴ひつじ)。思ったことをすく口にしたい、デリカシーのない高橋生・丹波ツルギの言動によって周囲の友人たちが抱えていた悩みや秘密が明らかになっていく物語。1年生が探してきた台本を採用したという。「部員のキャラクターに合った役が多く、役者の魅力が出る台本だと思えます」と部長の戸田大翔さん(3年)は話す。

観客のため日々研鑽

7月には、市内の演劇・人形劇団体のフェスティバル「サマシアター」に出演。参加団体の一つ「劇団びーなつ」の小学生から劇の感想を書いた手紙をもらい、演じる楽しさを改めて実感したそう。少人数で「ゆるい雰囲気」の部活だというのが、練習が始まるまで全員が真剣なまなざしに。「この背中を押すところ、もっと強く押した方が良さそう」「ここは上手から出た方がいいね」。全ては見る人のために。学年の垣根を超え、自由に意見を交わし作品を作っていく。台本は既存のものを選んだが、部の色が出た劇に仕上がりをうたう。

半数以上が未経験で入部

秦野高校・秦野曽屋高校の演劇部を取材し、部員は大半が演劇未経験者だったことが分かった。秦野高校は部員10人中8人が、曽屋高校は6人中4人が高校から演劇を始めている。「コロナ禍や少子化を受け文化部は人集めに苦労しています。特に演劇部は中学校に部活がないことが多いので、経験者が少ない」と曽屋高校演劇部顧問の山本栄一教諭は話す。秦野市内の中学校でも、演劇部があるのは9校中2校のみだ。

未経験から演劇部に入った理由として「劇団四季に憧れていた」「部活動紹介で先輩の演技を見てひとめぼれ」など演技に興味があった人の他、照明や音響など裏方をやりたくて入部した人もいたという。

実際、演劇部に入ってからどうだったのか。「演じている時は自分と違う自分になれる」「お客さんが感動してくれるのがうれしい」「みんなで舞台を作り上げるのが楽しい」といった感想を両校の部員は話す。演技中の没入感、観客の心を変えられる爽快感、仲間と舞台を作った達成感が魅力のようだ。

第55回秦野市展

作品募集案内

秦野市は市民の芸術文化の振興を図ることを目的に、日頃の芸術活動の成果を発表する場として中学生を除く15歳以上の市民・市内在勤者等を対象として毎年、公募展『秦野市展』を開催している。今年はメタックス体育館はだの(総合体育館)メインアリーナを会場に10月21日(火)～25日(土)(各日午前10時～午後5時、最終日は正午まで)に写真・書道・美術の各部門で作品を展示。開催要項・出品票は各公民館、駅連絡所及び文化振興課(教育庁舎1階)、市役所ホームページから入手できる。募集作品の搬入(受付)日時・場所は以下の通り。

一般部門	書道の部	美術の部
搬入日時:10月19日(日) 午前10時～午後1時	搬入日時:10月19日(日) 午前9時30分～午前10時30分	搬入日時:10月19日(日) 午前10時～午後1時
搬入場所:メタックス体育館 はだのメインアリーナ	搬入場所:メタックス体育館はだのメインアリーナ	搬入場所:メタックス体育館はだのメインアリーナ

次世代部門(29歳以下)
受付期限:10月3日(金)まで
受付方法:電子申請で受付

※搬入(受付)は代理人も可※指定日時に搬入(受付)が困難な場合、事前に相談を

問い合わせ 秦野市文化振興課Tel.0463-86-6309

はだの歴史博物館 企画展

安居院庄七 草山貞胤とその門人たち

第30回全国報徳サミット秦野市大会の開催にあわせて、市内出身で報徳を広めた功労者である安居院庄七と草山貞胤及びその門人をとりあげ、報徳の考え方に基づく農業技術の向上による農村振興の取り組みが後に秦野を銘産地にしていったことなどを紹介する。

会期 2025年9月6日(土)～11月16日(日)

時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

場所 当博物館 第1企画展示室 入館料 無料

TEL.0463-87-5542 月曜日・9/16・17・24・10/14・15・11/4・5(9/15・10/13・11/3は開館)

文化会館出張公演

秦野市文化会館改修工事休館中のため、市内の施設に出張して公演を開催しています。

みんなで楽しむ音楽の時間 ～ファゴット編～

日時 2025年9月7日(日)
14:00 開演(13:30開場) ※15:20終了予定・休憩なし

会場 東海大学前 タウンニュースホール

参加費 ●一般(中学生以上) ¥2,000
→ お子様(3歳～小学生) 1名同伴可
●お子様(3歳～小学生) 1名追加はプラス¥500
●2歳以下 無料

※お子様のみのご参加はご遠慮ください。大人のみのご参加も大歓迎です!
※軽食&ドリンクは付きません

興津 諒 (ファゴット) 森内 麗香 (ピアノ)

9月の抽選会について

大ホール・小ホール・展示室
2026年9月利用分の抽選会を実施いたします。

開催日 2025年9月1日(月)

抽選受付 午前9時30分～10時

抽選開始 午前10時～

会場 メタックス体育館はだの第1会議室

会館ホームページにて参加方法、注意事項をご確認ください

秦野寄席

2025年 9月20日(土)

北公民館 多目的ホール

11時開演(10時30分開場) 12時終演(予定)
予約制(先着100人)
木戸銭(入場料):大人100円・高校生以下50円

春風亭 かけ橋 鏡味 小時 大神楽 曲芸